



としょかん

<http://www.lib-utsunomiya.jp/>

<http://www.lib-utsunomiya.jp/m> (携帯端末用)



上河内図書館にようこそ！



図書館のエントランスから中に入ると、整然と並んだ書架に迎えます。外から見えた半円形のどくしょコーナーでは、窓から明るい光が差し込み、親子連れや子どもが楽しそうに絵本を読んでいます。閲覧用の座席で集中して本を読む人、学校帰りに面白い本はないかと探しにくる小学生——市立図書館や東図書館に比べると小規模館ですが、静かな環境の中で読書や調べものができる、図書館らしい図書館です。

上河内図書館の前身である上河内中央公民館図書室が手狭になったため、平成4年9月1日に、みんなの憩いの場所であり、身近な存在の図書館として現在の上河内図書館が開館しました。

資料の所蔵数は図書約85,000冊、雑誌107タイトル、視聴覚資料約3,500点です。特に視聴ブースは7台あり、ゆったりとしたスペースで音楽や映像資料を楽しんでいただけます。

また、毎月第2日曜日の午前10時30分から図書館こども会（3歳児以上を対象としたおはなし会）を2階多目的ホールで、第3金曜日の午前11時から0・1・2歳児向けのおはなし会を1階児童コーナーで開催しています。どちらのおはなし会もボランティアの方が中心となり、毎回楽しいお話の読み聞かせを行っています。

上河内図書館の周囲は、上河内地域自治センター、上河内生涯学習センター、上河内民俗資料館、野球場などのスポーツ施設が並ぶ文化・スポーツゾーンです。

11月23・24日は五穀豊穡、家内安全を願って羽黒山神社に梵天を奉納する梵天祭りも開催されます。

自然に囲まれ、のどかな場所ですので、ぜひ、図書館にいらしてください。

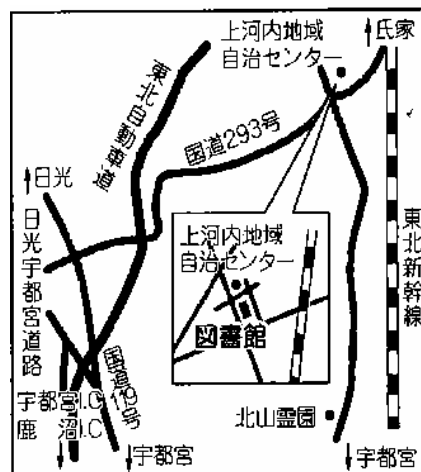
【公共交通機関】

- ・ 関東バス玉生車庫行き、今里行き「上河内地域自治センター」下車徒歩3分
- ・ 代替バス「ユッピー号」氏家線、河内線など「自治センター」下車徒歩1分

※代替バスは日祝日運休です。



窓際に設置された半円形のどくしょコーナー





防災を考えよう



地震大国、台風銀座と呼ばれる日本ですが、近年はさらに梅雨前線による大雨の被害や、ゲリラ豪雨、竜巻など、様々な自然災害をニュースで見かけるようになりました。

記録的な猛暑が続いた夏が終わり、季節は秋、いよいよ本格的な台風シーズンの到来です。

そこで今回は防災や災害に関する本を集めてみました。

図書館に所蔵していますので、ぜひご利用ください！

宇都宮市の過去の災害

『昭和二十二年九月 水害の記録』（宇都宮市役所／1948）

昭和22年、カスリーン台風が日本に上陸し、関東地方や東北地方に大きな被害がでました。こちらは宇都宮市がまとめた被害の記録集です。

『カスリーン台風 昭和22年関東水没から50年』（カスリーン台風写真集刊行委員会／1979）

氾濫した田川の写真が掲載されています。

『釜川のあゆみ』（宇都宮市下水道部河川課／1993）

宇都宮市街を流れる釜川は、改修工事前は氾濫の多い川として有名でした。この本では氾濫した時の写真や新聞記事を見ることができます。宇都宮の主な水害年表も掲載。

日本や世界の過去の災害

日本および世界の自然災害を写真つきで解説してあります。

『地球大変動 2005』（ニュートンプレス／2005）

『多発する自然災害』（ニュートンプレス／2004）

『世界の災害の今を知る 全7巻』（文溪堂／2006）

『TSUNAMI をこえて スマトラ沖地震とアチェの人びと』（藤谷健著／ポプラ社／2006）



災害を予知する

『緊急地震速報』（渡辺実著／角川SSC新書／2008）

「緊急地震速報とは？」に始まり、防災・減災にかかわる情報や対処法まで解説してあります。

『大地震 死ぬ場所・生きる場所』（和田隆昌著／ゴマブックス／2006）

「今いるその場所で、もしも大地震がきたら」を前提に、身近な場所を取り上げ、瞬時の判断でより安全に逃げる方法や、過去の地震から、各地域で起こりやすい地震の傾向を解説してあります。

災害に備えて

『実践版 わが家の防災 Part 2』（玉木貴著／駒草出版／2005）

地震や風水害被災直後の対処行動や、非常食、携帯トイレなどの防災グッズを実際使用し、使いやすさや満足度などを5段階で評価した防災グッズ体験レポートなど、防災に役立つ情報が多数掲載されています。

『実践！わが家の防災対策〈いざというときの行動編〉』（日本放送協会／日本放送出版協会／2006）

『目からウロコの防災新常識』（山村武彦著／ぎょうせい／2010）

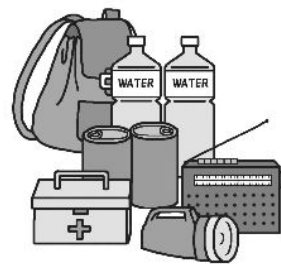
自治体の取り組み

『被災地からおくる防災・減災・復旧ノウハウ』

(水害サミット実行委員会事務局編／２００７)

『これからの自治体防災計画』(中村八郎著／自治体研究社／２００５)

『地域防災とまちづくり』(瀧本浩一著／イマジン出版／２００８)



被災者を助ける

『〈一人でもできる〉地震・災害ボランティア活動入門』

(角田四郎著／ふきのとう書房／２００６)

『あなただからできる自然災害ボランティアABC』

(日本ネイチャーゲーム協会編／ネイチャーゲーム研究所／２００６)



映像で備える

DVD 『実践！わが家の防災対策』

(NHKエデュケーショナル／企画制作／２００６)

DVD 『防災DIYーいざという時のために備えよう！』

(エグザクト製作)

ビデオ 『あなたの備えはだいじょうぶ？ー宇都宮市の防災対策からー』

(宇都宮市立視聴覚ライブラリー／企画制作／２００１)

親子で備えよう！～親子で読める児童図書のご紹介～

『自然災害発生！』被災者から学ぶ自然災害２

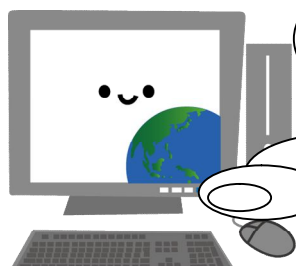
(横田崇監修／あかね書房／２００７)

過去の自然災害を写真をもとにわかりやすく解説。災害時の市町村や消防・医療現場の人たちの取組みについても紹介してあります。

『こども地震サバイバルマニュアル』(国崎信江著／ポプラ社／２００６)

『防災授業 僕たち自然災害を学び隊！』(山本哲朗著／電気書院／２００５)

『知ってそなえよう！地震と津波』(都司嘉宣監修／素朴社／２００７)



ホームページも参考にしてみてください。

栃木県立図書館＜防災を調べる＞

<http://www.lib.pref.tochigi.jp/siraberu/list/007.htm>

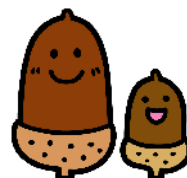
栃木県立図書館＜図書館情報発信事業＞

<http://www.lib.pref.tochigi.jp/gyozi/jouhou/index.html>

宇都宮市＜防災＞

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kotsu/bosai/index.html>

催し物案内



おはなしサロン ハロウィンスペシャル	
◇ 日 時	10月2日(土) 午後2時～午後3時
◇ 会 場	河内図書館(中岡本町) 集会室
◇ 内 容	英語絵本のよみきかせ、ホーンテッドハウスの工作
◇ 定 員	20人(当日の午後1時30分から受付)
◇ 問合せ	河内図書館 673-6782
世界にひとつだけの絵本作り教室	
◇ 日 時	10月31日(日) 午前9時30分～午後3時
◇ 会 場	上河内図書館(中里町) 多目的ホール
◇ 内 容	自分で考えた物語を絵本にします。
◇ 講 師	大野 薫(おおの かおる)さん(元小学校長)
◇ 対 象	小学3年生～6年生
◇ 定 員	20人
◇ 持ち物	筆記用具、色鉛筆、クレヨン、昼食
◇ 申込み	10月5日(火) 午前9時30分から 直接または電話で上河内図書館へ 674-1123
読書推進講座 「源氏物語と日本文学」	
◇ 日 時	11月6日(土) 午後1時30分～午後3時30分
◇ 会 場	市立図書館(明保野町) 3階集会室
◇ 講 師	島内 景二(しまうち けいじ)さん(電気通信大学教授・文学博士)
◇ 定 員	60人
◇ 申込み	10月4日(月) 午前9時30分から 直接または電話で市立図書館へ 636-0231
第169回 落語会	
視覚障がい者の皆さんに楽しんでいただくテープ作成のための落語会を、宇都宮落語研究会のご協力により開催します。どなたでも参加できますので、お気軽にご来場ください。	
◇ 日 時	11月20日(土) 午後2時～午後4時
◇ 会 場	市立図書館(明保野町) 3階集会室
◇ 問合せ	市立図書館 636-0231
生活支援講座 「子どもを伸ばすお手伝い」	
◇ 日 時	12月5日(日) 午前10時～正午
◇ 会 場	市立図書館(明保野町) 3階集会室
◇ 内 容	辰巳 渚(たつみ なぎさ)さん(家事塾主宰)による「子どもを伸ばすお手伝い」と題した子育てについての講演です。
◇ 定 員	80人
◇ 申込み	11月1日(月) 午前9時30分から 直接または電話で市立図書館へ 636-0231

としよかん 第174号 平成22年10月1日

編集・発行	宇都宮市立 図書館	明保野町7番57号	〒320-0845	TEL 636-0231
	東図書館	中今泉3丁目5番1号	〒321-0968	TEL 638-5614
	上河内図書館	中里町182番地1	〒321-0414	TEL 674-1123
	河内図書館	中岡本町3397番地	〒329-1105	TEL 673-6782